

卓越した技術者（現代の名工）（2017 年度）

第 1 部門（金属材料製造の職業）

阿部 俊則 (株)日本製鋼所 室蘭製作所

入社以来 45 年にわたり鍛造技術の研鑽に努め、大型かつ複雑な形状の特殊異形品の鍛造技能に卓越し成果を挙げてきた。特に世界最大の洋上風車杭打ち用アンビルのようなプレス機的能力を超える形状の製品に対して、プレス成型するための使用治具の改善、鍛練工程、圧下要領を考案し、品質や生産性も向上させつつ製造可能とした。現在は現場作業員、技術スタッフに対して OJT により鍛造技術や新工程の発想要領を伝承中である。

大池 博美 JFE スチール(株) 東日本製鉄所

入社以来一貫して溶鉱炉の操業に従事。500 以上の膨大な温度・圧力データ等から溶鉱炉内の反応状況や設備異常の些細な兆候を的確に把握・判断する技能に卓越し、当該技能の体系化により、溶鉱炉の安定操業に貢献した。また豊富な知識と経験に基づく技能を伝承すべく教育の仕組み作りにも取り組み、後進の指導に尽力している。

さらに、現在も稼働を続ける千葉第 6 溶鉱炉の改修においては、当時の世界最短記録（62 日間）での改修にも貢献した。

谷口 辰也 新日鐵住金(株) 鋼管事業部 尼崎製造所

エネルギー産業向け大径継ぎ目無し鋼管の熱間押抜製管法に関する技能に卓越し、製管工具等の改善、押し抜き力計算精度向上による製管段取の適正化等の高能率製管技法の確立、プレス挙動計測システム確立による寸法精度改善等、大幅な生産性向上、品質異常（疵・寸法不良）の低減に寄与した。現在は、自己の経験を活かした後進の育成及び生産変動に強い工場体制の確立に向けた多能工化の推進に積極的に貢献している。

三浦 榮治 新日鐵住金(株)大分製鉄所

高炉に原料を供給するベルトコンベアの摩擦音等から、ベルト蛇行の予兆を検知する技能並びに高炉の羽口の輝度等から吹き込まれる高温空気の温度、供給量変動を検知する技能に卓越し、操業トラブルを未然に防ぎ高炉一基あたりの国内記録である月産 44 万トンの達成に貢献した。自身の技能を約 100 頁に及ぶ高炉工程の設備とプロセスに関する標準書、教育資料としてまとめ、全国 6 箇所の製鉄所で活用されている。

第 4 部門（一般機械器具組立・修理の職業等）

川上 真一 JFE スチール(株) 西日本製鉄所（福山地区）

圧延エリアの機械設備保全業務に長年携わり、各種設備のメンテナンス方法を追求した。メンテナンスコスト及び修理による生産停止時間のミニマム化という二律相反する条件を最適化することにより、ミニマムコストでの安定稼働・生産能力の最大化を実現しただけでなく、その手法を継続的に維

持・管理できる基準や仕組み作りを精力的に行った。また、自らが確立した設備管理技能を体系化し、後進技能者への技能の伝承に努めている。

第10部門（タイル張工、左官、建築板金工及び建設機械運転の職業等）

江藤 浩二 新日鐵住金(株)大分製鐵所

製鉄所における窯炉設備の点検診断に関する技能（炉の外側から検査用金づちで叩きその反響音のわずかな違いから内部のどの耐火物にどの程度亀裂が発生しているかを診断できる技能）に卓越し、粗鋼1,000万t/年の高生産の実現に大きく寄与してきた。自身の技能を現場で若手に直接指導するとともに、「築炉技能検定」の検定補佐員として20年にわたり日本鉄鋼業共通の課題である築炉工の養成にも尽力している。